

# SEA1000 SERIES

## HS (有害物質) モニタ

### 有害物質を高感度測定

液化窒素レスタイプの検出器を搭載した装置は感度が悪いという常識をくつがえしました。

X線管球および検出器、フィルタの新規開発や最適なX線検出のレイアウトでX線強度が従来比で最大72倍。飛躍的に感度が向上しました。

世界の電圧に対応しているため、世界中どこでも使用できます。



### 液化窒素不要

電子冷却の検出器を搭載していますので、液化窒素は不要です。液化窒素の使用コスト、補給の際の安全への気遣いは全くありません。

### コンパクト

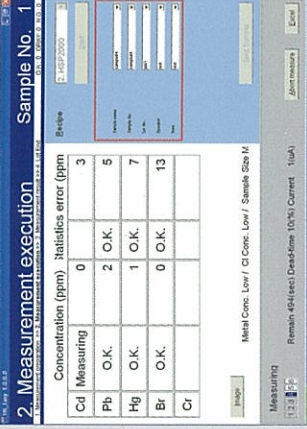
検査現場の狭いスペース(900×700mm)に設置できるコンパクトサイズでありながら、大型試料(370×320mm)の測定にも対応できます。

### トランス不要

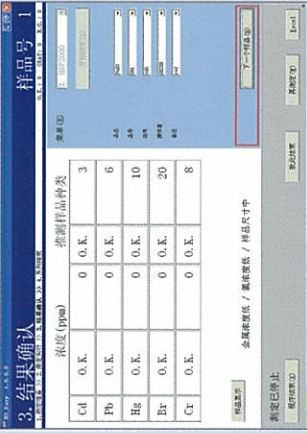
海外の現地電圧に対応した設計となっており、ステップダウントランスが不要です。

### 現地言語に対応

海外の現地言語に対応した操作ソフトをご用意しました。英語はもちろん中国語(簡体字、繁体字)、韓国語ソフトも揃えました。



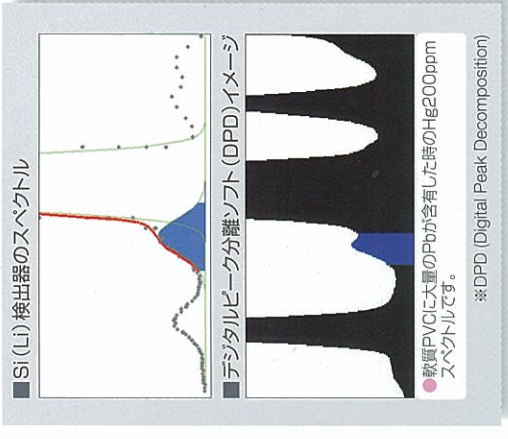
英語版



中国語版

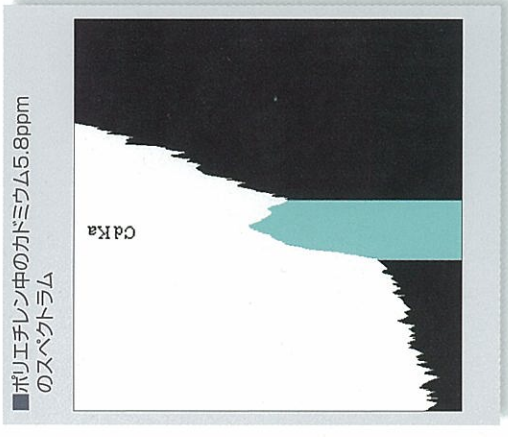
### 高精度(ピーク分離ソフト内蔵)

新技術デジタルピーク分離ソフト(DPD)で、Si(Li)検出器でも分離が難しいスペクトルの分離が可能になりました。



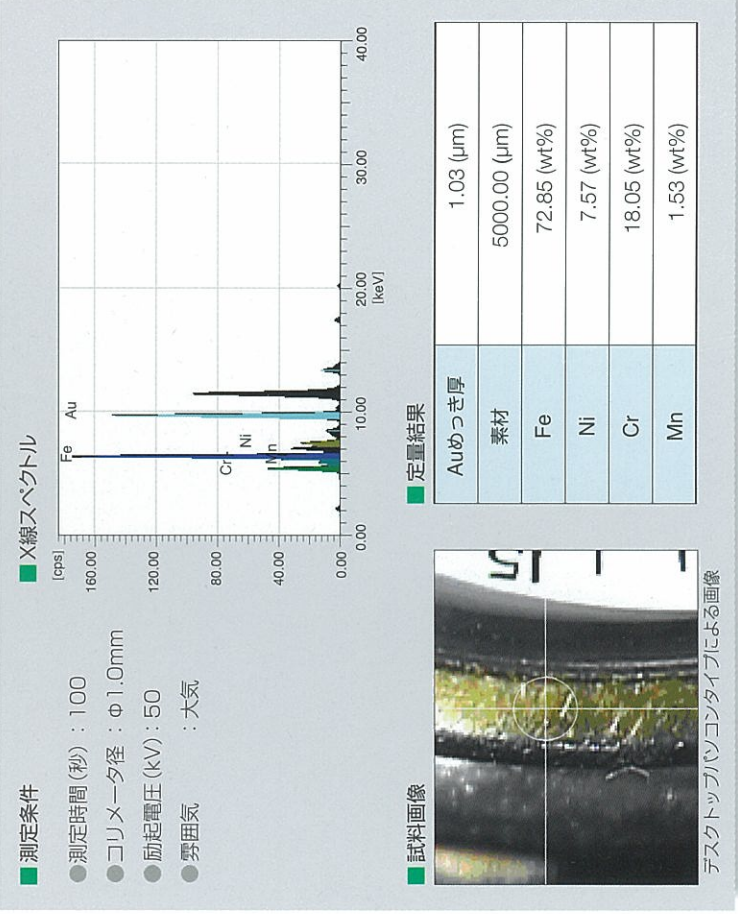
### 高感度

大面積の検出器の採用と、サンプルー検出器間の距離を最短に配置することで、蛍光X線を効率良く検出できます。



### 微小X線ビームによる分析例

1mmφX線ビームにより小型金属部品の任意の箇所の定性・定量を行うことができます。



### ステージオプション

● サンプルチェンジャ  
最大12個の試料を連続測定できます。



● 外部駆動X-Yステージ

試料を試料室に入れたままで任意の箇所を測定できます。



### ● SEA1000A仕様

測定元素	原子番号13(AI)~92(LU)	X-ray Station	ノートまたはデスクトップパソコン (OS: MS-Windows XP®)	設置寸法	900(W)×700(D)×460(H)mm (プリンタは除く)
試料形態	固体・粉末・液体	プリンタ(オプション)	インクジェットプリンタ	重量	90Kg
線源	小型空管式X線管球(Rhターゲット) 管電圧:15kV, 50kV, 管電流:1mA	定性分析機能	スペクトル測定、自動同定、比較表示	使用電源	AC100~120V, 200~240V±10%, 10A
検出器	Si半導体検出器(液化窒素不要)	定量分析機能	KLMマーガ表示、差し引き表示	オプション	● 有害物質判定ソフト ● スペクトルマッチングソフト(材料判別) ● 薄膜FPソフト ● 薄膜検量線ソフト ● 外部駆動X-Yステージ ● サンプルチェンジャ
分析領域	1mmφ, 5mmφ(自動切替)	ハルグFF法、検量線法			
試料観察	カラーCCDカメラ	統計処理機能	MS-EXCEL®搭載		
フィルタ	4モード自動切替	レポート作成	MS-WORD®搭載		
試料室	370(W)×320(D)×155(H)mm				